

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2093200042		
法人名	社会福祉法人えがお		
事業所名	けんちゃん家		
所在地	長野県上高井郡小布施町大字中松701番地1		
自己評価作成日	令和 3年 2月 22日	評価結果市町村受理日	令和 4年 2月 15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kanistrus&amp;lijyosyoCd=2093200042-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kanistrus&amp;lijyosyoCd=2093200042-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 3年 12月 17日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「えがお」という名前の通り利用者様一人ひとりが笑顔で過ごせ、幸せと感じることは何かと常に考えるケアを目指しています。毎朝唱和する介護理念「笑いの絶えない家庭にします」「できることを探し大切にします」「分かっていることを探し大切にします」「そっと見守りさりげなく支援します」「みんなで考えみんなで創ります」を実現すべく、行動指針を掲げ、「Passion」「Hospitality」「Teamwork」を理念実現のため意識し行動しています。「利用者様の本人のしたいことができるように支援する」ために、スタッフ間で常に話し合えるチームづくりを目指しています。また、第二の家、家族としての雰囲気、「暖かさ」を大切にしています。利用者様が馴染みの生活を送れるようにできるだけ環境を整え、穏やかに過ごせるよう支援しています。施設には畑があり、季節によって実るものを収穫したりしています。コロナ禍ではありますが、今後も町や地区の行事に参加したり来所していただけるよう、地域との交流を大切にして行きたいと考えております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

新潟に入り信濃川となる滔々とした流れの千曲川右岸に広がる人気の観光スポット、歴史と栗の里小布施町の中にホームがあり、近くには北信濃くだもの街道が走り、周りを雁田山裾野の緑豊かな自然に囲まれている。そのような中、平均年齢91.2歳の18名の利用者が馴染みの職員による援助の下、利用者がお互いを認め合い、支え合いながら、一つの家族としてのんびり、ゆったりとした生活を送っている。「最高の笑顔で私たちに関わるすべて人がいきいきとなるような社会を創ります」という経営理念を掲げ、また、行動指針として「Passion」「Hospitality」「Teamwork」の3つを挙げ、日々、気持ちも新たに利用者に接している。利用者の残存機能を継続すべく自分で出来ることはやって頂き、そっと見守り、助けを必要とする時には手助けをするようにしている。新型コロナの影響を受けていたが、漸く、10月から条件付きで対面での面会ができるようになった。それまでは窓越し面会であったが、予約制で新型コロナワクチン接種済みの方であれば15分間の面会が面会室で可能となっている。また、新型コロナ禍ではあるが十分な感染対策を取り、家族代表、民生委員、近隣住民、地域包括支援センター職員等の出席で2ヶ月に1回の運営推進会議を継続的に実施している。町内の民生委員を対象としたオレンジキャラバンにもホーム職員が係わりを持ち認知症についての啓発活動も行い、ホームとして高齢者の運転免許証返納についての講習会を企画し、地域包括支援センターと共同で開催する予定がある。新型コロナウィルスの影響を受け一般的に自粛傾向が見られる中、施設長、計画作成担当者、職員、それぞれが思いを一つにし、利用者が安心しお互いが「家族のように」生活できるよう様々な工夫を凝らし、地域に密着した活動を続けている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		